

新年にあたって

デイサービス寮母 黒木豊子

昨年の四月に「デイサービスえぐも」をオープンして、はや、九ヶ月になりました。地域の方や関係者の方々の、あたたかい御支援により、今日に至る事が出来ました事を、深く感謝致しております。

利用者の方々も、最近ではとても和やかで、ほほえましい関係が生まれつつあります。今迄、独居生活で何事にも悲感的に捉えがちであった人も、自分より身体の不自由な方々に役立ちたいと考え、前向きに生きようと努力しておられます。それが活力となり、自信につながってゆく様です。

人生の大先輩であるお年寄りからは、私達も教わる事、反省させられる事が沢山あります。それでも、利用者の方から「ここへ来るとんだかホッとして落ち付く。デイサービスへ来るのが楽しみでね。」といわれると、嬉しくなり疲れもふっ飛んでまいります。

これからも、なお一番楽しく、温かく、家庭的な 囲気できつろげる「えぐも」として、職員一同頑張ってゆきたいと思っております。

私と「えぐも」の出会い

利用者 今井 清水

ヘルパーさんから、デイサービスのお話しを伺ったのは、春の四月でした。その後、「えぐも」さんからお勧めもあり、何となくお世話になってみようかなと、考える様になりました。

五月から、初めての経験をさせて頂き、年末目前の今は何の不安もなく、次のデイサービスが楽しみとなって、待ちかねる日を過ごさせて頂いております。

「えぐも」へ行って、健康チェックの後、お風呂にも入っておりますが、以前耳にした天然で

良質の温泉を利用できるとは、夢にも思いませんでした。とても良い思い出となりました。回数を重ねている間には、いろいろな行事に参加でき、とても良い思い出となりました。何十年振りかの潮干狩り、やっとな探し取った三つだけのあさり貝、くやしかったけれど、本当に面白かった事。暑い最中の御神事。三恵ホームの皆さんと合同で行なった運動会、その

時のパン食い競争のアンパンの味とてもおいしかったです。十一月末の酒だる村のお食事会と紅葉狩り等、一人では行く事のできない色々な行事に参加することができてとても良い一年だったと思います。

今後とも、同じ曜日に御一緒する皆さんや職員の方々と、明るく・楽しく過ごして、数多くの行事に参加して、一日でも長くデイサービスセンター「えぐも」へ行ける事を願っております。

